

I. 広東省

1 李希・省党書記と馬興瑞・広東省長がオニール・パプアニューギニア首相と会見

●24日、李希・省党書記と馬興瑞・省長がオニール・パプアニューギニア首相と広州で会見した。李希・書記は「一帯一路、広東・香港・マカオビッグベイエリア建設のチャンスを掴み、双方のインフラ、経済・貿易・投資、農林水産業、資源開発、医療・衛生、文化・観光等における互恵的な協力を深めウィンウィンの関係を築いていく」と述べた。会見には、薛冰・在パプアニューギニア中国大使、王偉中・深セン市書記、江凌・広東省副省長、黄寧生・広東省副省長も参加した（25日付「南方日報」1面）。

2 「金交会」が閉幕し、結ばれた融資意向書は4,491億元

●第7回中国（広州）国際金融取引・博覧会が閉幕した。同博覧会では326機関が出展し、米など20余りの国々が参加した。マッチングが行われた38のプログラムについて結ばれた融資意向書の合計金額は4,491.5億元となった（25日付「南方日報」10面）。

3 広東省大学入試統一試験の点数が公表

●2018年広東省大学入試統一試験の点数が公表された。広東省の大学入試統一試験受験者は約75.8万人だった。満点は750点で500点以上は約12万人、600点以上は約1.2万人いた。文系では550点、理系では500点を超えた受験生の資料は優先的に大学へ送付される。2018年の4年制大学（本科）への合格最低ラインは文系443点（上位約10万人程度まで）、理系376点（上位20万人程度まで）で、3年制短期大学（専科）への合格最低ラインは文系215点（上位約30万人程度まで）で理系205点（上位31万人程度まで）だった（26日付「南方日報」1面、26日付「広州日報」4面）。

4 薬物取締り

●25日に行われた、広州税関の記者会見によれば、今年に入って広州税関で押収された薬物押収量は93.4キロとなった。そのうち、4月18日に白雲空港税関が入国旅客検査で押収した25個の粉ミルク缶に20.1キロのコカインを忍ばせていた事件は近年でも最大級のものだった（26日付「南方日報」14面）。

●広東（省公安）国境部隊が一昨年から逮捕した薬物事件は450件余りで、押収された薬物は3.4万トンとなっている（26日付「南方日報」14面）。

※2016年における東京都の薬物押収量は337キロ（警視庁ホームページ）

5 広東省党・政府代表団が新疆ウイグル自治区を訪問

●25～27日、李希・書記と馬興瑞・省長率いる広東省党・政府代表団が新疆に赴き、広東

省による新疆ウイグル自治区支援について交流・マッチングを行った。陳全国・自治区党書記，雪克来提・扎克爾・自治区主席，孫金龍・自治区党副書記も活動に参加した。代表団はカシュガル市深セン産業パーク，草湖産業パーク，緑美南疆林業産業パーク，疏附県広州汽車販売区，カシュガル大学新キャンパスなどの支援プロジェクトを視察・研究した（28日付「南方日報」1面）。

6 広東省の宅配便数が6年連続全国トップ

●広東省宅配便業務グリーン包装調査・研究情況報告書によれば，2017年の中国宅配便の業務量は400.6億件で世界の50%を占めていたが，2017年の広東省の業務量は101.35億件だったが，一パック当たりの梱包を200グラムと仮定しても，202万トンの包装ゴミが生じた計算になる（1日付「南方日報」5面）。

II. 広州市

1 2018 清華五道口グローバル金融フォーラム広州サミットが開催

●24日午前，第7回となる中国（広州）国際金融取引・博覧会（金交会）のメイン・イベントの一つである2018清華五道口グローバル金融フォーラム広州サミットが，広州琶洲の中国輸出入商品交易会展覽館で開催された。温国輝・広州市長，廖理・清華大学五道口金融学院常務副院長，李思敏・中国人民銀行広州支店副支店長が挨拶をした。温国輝・広州市長は挨拶の中で，国から南沙新区が様々な金融イノベーションのテスト地として許可されていることなどを紹介した（25日付「広州日報」1面）。

2 6月の広州市個人用ナンバープレートの最低取引成立価格が5万元を突破

●25日午後，6月の広州市のナンバープレート競売結果が公表され，個人用のナンバープレートの最低取引成約価格は52,000元，平均取引成約価格は57,283元だった。業務用ナンバープレートの最低取引成約価格は62,800元で，平均取引成約価格は77,611元だった（26日付「広州日報」14面）。

※4月時点では広州市ナンバープレート最低取引成約価格は32,100元，業務用ナンバープレート最低取引成約価格は51,000元だったが，7月1日から広州市以外のナンバープレートを付けた車両に対する走行制限が課されることとなったため，ナンバープレートの値段が急騰している。

3 中国国際ライチ産業大会が開催

●28日～30日，2018年中国国際ライチ産業大会及び広東ライチ産業高品質発展会議が広州市従化区で開催された。葉貞琴・広東省副省長が開幕式に出席し，演説した。葉貞琴・副省長は中国のライチ，広東のライチを中国の対外交流の「美しい名刺」にしていこうと述

べた（29日付「広州日報」2面）。

※26日午前、深セン市南山区でも第20回南山ライチ文化・観光祭が開幕した（27日付「深セン特区報」3面）。

Ⅲ. 深セン市

1 深セン市が新疆ウイグル自治区カシュガル市に第一陣の純電動バス16台を贈呈

●27日午後、深セン市がカシュガル市支援のため16台の比亞迪K8純電動バス引き渡し式典がカシュガル深セン城で行われた。深セン市は（支援に）2,000万元を投じている（28日付「深セン特区報」5面）。

2 江湛鉄道が正式に開通

●1日、江湛鉄道の運行が正式に開始され、深センから湛江までがこれまでのおよそ11時間半から3時間半に短縮される（1日付「深セン特区報」7面）。

Ⅳ. 福建省

1 今年度トイレ革命に2億元

●福建省財政庁によれば、2018年は「トイレ革命」に2.03億元の資金が投入される。都市部で700ヶ所、郷鎮で400ヶ所、農村で1000ヶ所の公衆トイレを建設・改修し、1ヶ所当たり都市部では5万元、農村部では4万元の補助金を出す（27日付「福建日報」1面）。

Ⅴ. 海南省

1 1～5月の海南省の対外貿易総額は265.7億元

●海口税関によれば、1～5月の海南省の対外貿易総額は265.7億元だった。1～5月、海南省は143の国・地域と貿易をし、そのうちアセアンが最大の貿易パートナーで64.1億元となり前年同期比32.8%減であったものの全体の24.1%を占め、アメリカとの貿易額は58.7億元で前年同期比54.4%増、EUとの貿易額は45.7億元で前年同期比33.5%増となった（26日付「海南日報」1面）。